

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築計画Ⅱ	担当教員	櫻木耕史		
学年学科	4年 建築学科	通年	必修	2単位(学修)	
学習・教育目標	(D-4) 100%		JABEE 基準 1 (1) : (d)		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 建築は人間生活の場であるとの認識のもとに、様々な用途の建築に共通し、建築設計における計画の基礎的な知識を習得する。具体的には以下の項目を目標とする。 ①建築計画に関わるキーワードとその内容を把握する ②建築空間構成、空間形態の知覚、人間行動との関係を把握する ③建築計画におけるデザイン手法について把握する ④建築計画における調査、分析方法を理解する		<b>成績評価の方法：</b> 中間試験 100 点+期末試験 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行なう。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 <b>達成度評価の基準：</b> 教科書および講義で説明した内容についての問題を試験で出題し、6割以上の正答レベルまで達していること。なお成績評価への重みは、①～④を各 25%とする。 ①建築計画のキーワードに関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる ②建築空間構成、空間形態の知覚、人間行動に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる ③建築計画におけるデザイン手法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる ④建築計画における調査、分析方法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる			
授業の進め方とアドバイス：授業では適宜コンパクト建築設計資料集成(日本建築学会編 丸善)を利用する。板書、スライドを中心とするが、適宜作図やグループワークも取り入れた弾力的な授業形態とする。建築の設計には様々な考え方があり、建築計画に関わる概念の本質を理解するように努めてもらいたい。理解を深めるため、スライドや図示した建築物・建築家に対し、自ら積極的に調べ、学習すること。					
<b>教科書および参考書：</b> 教科書：建築計画学(松本直司、瀬田恵之、高井宏之、建部謙治、谷田真、中井孝幸、矢田努著 理工図書) 参考書：空間デザイン事典(日本建築学会編 井上書院)、建築・都市計画のための調査分析方法(日本建築学会 井上書院)					
授業の概要と予定：前期		教室外学修		ALのレベル	
第 1 回：建築計画の役割		—			
第 2 回：空間創造のための計画		環境と建築について調べる			
第 3 回：生活空間の創造		生活空間に関する演習			
第 4 回：空間とは		空間を定義した人物について調べる			
第 5 回：建築空間の構成		建築空間に関する演習			
第 6 回：形の意味		キーワードを調べ理解する			
第 7 回：空間形態の知覚		知覚に関する演習			
第 8 回：中間試験					
第 9 回：身体と人間構造		身体と人間行動に関する演習			
第 10 回：空間のイメージ		キーワードを調べ意味を理解する			
第 11 回：アフォーダンスと空間図式		認知と記憶について整理する			
第 12 回：計画と設計の過程		UDについて調べる			
第 13 回：全体計画		空間体験に関してまとめる			
第 14 回：空間の性能・安全性		安全性についてまとめる			
<b>期末試験</b>					
第 15 回：建築計画の展開					

授業の概要と予定：後期		ALのレベル
第16回：建築計画におけるデザイン手法の概説	—	
第17回：立てる・覆う・囲う	建築作品・建築家を調べる	
第18回：積む・組む・刻む	建築作品・建築家を調べる	
第19回：並べる・整える・区切る	建築作品・建築家を調べる	
第20回：混ぜる・つなぐ・対比させる	建築作品・建築家を調べる	
第21回：変形させる・浮かす・透かす	建築作品・建築家を調べる	
第22回：動きを与える・飾る・象徴させる	建築作品・建築家を調べる	
第23回：中間試験		
第24回：調査の方法と概要	—	
第25回：観察調査手法（動線・行動観察）	関係する研究を調べる	
第26回：観察調査手法（デザインサーベイ）	関係する研究を調べる	
第27回：意識評価手法（エレメント想起法）	関係する研究を調べる	
第28回：意識評価手法（SD法）	関係する研究を調べる	
第29回：調査の方法（アンケート調査）	関係する研究を調べる	
期末試験		
第30回：調査分析手法の考え方		

### 評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	建築計画のキーワードに関する問題を正確(8割以上)に解くことができる	建築計画のキーワードに関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	建築計画のキーワードに関する問題を解くことができない。
②	建築空間構成、空間形態の知覚、人間行動に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる	建築空間構成、空間形態の知覚、人間行動に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	建築空間構成、空間形態の知覚、人間行動に関する問題を解くことができない。
③	建築計画におけるデザイン手法に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる	建築計画におけるデザイン手法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	建築計画におけるデザイン手法に関する問題を解くことができない。
④	建築計画における調査、分析方法に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	建築計画における調査、分析方法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	建築計画における調査、分析方法に関する問題を解くことができない。